江北の四季

令和２年
6月８日
第10号

6月にはアジサイが似合う

○第二十五候、芒種、初候、螳螂生(かまきりしょうず)。

庭には薔薇を始め多くのおいしい植物があり、虫たちには天国です。薔薇にはバラゾウムシとチュウレンジバチそしてカミキリムシが最大の天敵です。バラゾウムシはお米に付くコクゾウムシとよく似て芥子(ケシ)粒のような大きさですが、あともう少しで咲きそうなバラの蕾周辺のおいしいところをチューチュー吸って枯らしてしまいます。チュウレンジバチの幼虫はバラの葉をことごとく食い尽くしてしまいます。５～６年バラを育ててやっと根元の直径が５ｃｍを越え、さあやっとこれからは大きな薔薇がたくさん咲くぞと思う頃に、カミキリムシがバラの株の根元に産卵しその幼虫は幹の中をトンネル状に食害して枯らしてしまいます(よって幼虫の別名はテッポウムシといいます)。

キョウカノコ

多くのバラ園は一週間に一度は殺虫剤を散布してきれいな花を咲かせています。

フウロソウ(レッド・ロビン)

そういうバラ園を見られた方は気づかれていると思いますが、そこには虫たちはほとんど居ません。見方によっては異様な世界です。テントウムシはアブラムシを食べ、クモやカマキリは虫たちを食べます。我が家の庭はナチュラルガーデンを自称しているように、ガーデナーは殺虫剤は極力控え、クモやカマキリだけに任せておられないので毎日のように庭へ出て害虫を捕殺しています。私も毎日のように花を見に庭へ出るのですが、知らぬ間に害虫の捕殺に没頭していることがままあり、花を見ずに終わることがあります。で、話は長くなりましたが、カマキリも大事にしており、毎年この季節、昨秋産み付けられた卵が孵化(ふか)するのを楽しみにしています。

いろいろな花菖蒲

○外出自粛が解禁され、楽々教室での稽古を再開しました。久しぶりの稽古で緊張しながら生けた第一号は花菖蒲の一種生けです。庭の花菖蒲の内、出来るだけ葉が長くしっかりしている種類を選んで持参しました。花菖蒲の葉は燕子花のように矯(た)めないのでさっと短時間に生けて次の立花新風体に時間をかけてと思いましたが、葉の裏表の確認と姿のいい葉の選択に迷い思いのほか時間を費やしてしまいました。葉脈1本の方が裏で2本の方が表ですが、逆に反(そ)っている葉が多く葉脈1本の方が表かと錯覚してしまうほどでした。

自宅では適当に生けて終わることも多かったですが、大先生のもとで生ける時は適度に緊張して真剣に生けられるものだと今更ながら実感しました。日頃は床(とこ)の関係で逆勝手に生けることが多いのですが、本勝手にしたため、余計に緊張しました。やはり日頃生けない方の形も数をこなさないと自然にさらりとは生けられませんね。何年稽古を積んでも生花の一種生けは、一種だからこそ枝や葉の微妙な長さや角度などが全体の印象に大きな影響を与えるので難しいものです。

生花新風体(山アジサイ・ヒペリカム・シラン)

久しぶりの稽古は、一杯目に生花正風体(花菖蒲写真左上)、二杯目に立花新風体(チンシバイ・花菖蒲・フウロソウ・ホワイトスノーボール他)、三杯目に生花新風体(写真右)、四杯目も生花新風体(花菖蒲・日の丸空木・柏葉アジサイの葉)と生けて無事終了。

チンシバイ(ニワナナカマド)

アジサイ(ホワイトスノーボール)

六月に入り昼の長さが非常に長くなりました。寝間の掃き出し窓にはカーテンが付いていますが、欄間窓にはカーテンが無い為、４時過ぎには明かるくなってきます。一旦目が覚めてしまいますがそのまま６時まで惰眠をむさぼっています。今日は稽古日という日だけは５時前にさっと起きて花採りが出来るから不思議です。

吾亦紅（ワレモコウ・メンジェシー）

黄菖蒲

○ここ二週間ほどは道路側に植えている日の丸空木が甘い香りを道行く人に投げかけていましたが、二～三日前からクチナシの花がその後釜をつとめかけました。こちらの甘い香りもまたいいものです。花言葉は「私は幸せです」「喜びを運ぶ」などだそうです。確かにクチナシの甘い香りを嗅ぐとそんな気になって来ます。

クチナシ

○「立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花」のユリが咲いてきましたが、ユリは女性のどういう美しさを表しているのでしょうか。ウェブで調べてみますと「女性の美しい容姿・立ち振る舞いを形容することわざ」とありますが、元々は漢方薬として生薬の使い方を教えた言葉でもあり、「立てば芍薬とは、気が立つ、イライラする時に芍薬の根を使い、座れば牡丹とは、お血（けつ）、つまり腹部に血液が滞った状態に牡丹の根皮を使い、歩く姿は百合の花とは、百合のようにふらついた歩き方、つまり精神的に不安定な状態の時に百合の鱗茎を使う」ことのようです。

右の写真は、種から笹百合を育てているという人から三年前に買ったものです。笹百合は種を植えてから七年目に咲くと言われるので、最低十年はたっているのだろうか？　毎年葉一枚分しか伸びないとも言いますが……　？？？